

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公表番号】特表2000-507040(P2000-507040A)

【公表日】平成12年6月6日(2000.6.6)

【出願番号】特願平10-529164

【国際特許分類第7版】

H 0 1 J 61/36

H 0 1 J 5/54

【F I】

H 0 1 J 61/36 A

H 0 1 J 5/54

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年 1月 6日

特許庁長官 小川 洋 殿

1 事件の表示

平成10年 特許願 第529164号

2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
エヌ ヴィ

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号

霞山ビルディング7階 電話(3581)2241番 (代表)

氏 名 (7205)弁理士 杉 村 興 作



- 4 補正対象書類名 請求の範囲
- 5 補正対象項目名 請求の範囲
- 6 補正の内容 別紙の通り



三 式 全



1. 請求の範囲を下記の通りに補正する。

「

請 求 の 範 囲

1. 真空密な方法で密封された光伝達性の管状ランプ容器
前記ランプ容器内の電氣的素子、
ランプ容器へ固定された突出する接触ピンを設けられたランプキャップ、
前記の電氣的素子及び前記の接触ピンへ接続された電気導体、
を具えているキャップ付電灯であって、
前記のランプキャップは円筒状の殻及び軸を有する金属メッキのハウジング、
及びそれと一体化された軸を横切り且つランプ容器から離れており且つ開口部
を有するベースを具えており、そのベースには絶縁板が前記の開口部を覆うよ
うにハウジング内にフランジを付けられた部分により保持された空洞が形成さ
れており、その絶縁板が前記の接触ピンが開口部へ入るように前記の接触ピン
を支持しているキャップ付電灯において、
ベースがその中に空洞を形成するために外側方向に変形され、且つハウジ
ングの内側のフランジを付けられた部分がランプ容器に対向する絶縁板の面を
押しつけることを特徴とするキャップ付電灯。
2. 請求項1記載のキャップ付電灯において、フランジを付けられた部分が軸
の実質的に境界線の回りで絶縁板を押しつけることを特徴とするキャップ付電
灯。
3. 請求項1又は2記載のキャップ付電灯において、ランプキャップが各自の
導体を介して電氣的素子へ各々接続されている二個の接触ピンを有し、一方絶
縁板は細長い形状を有し且つ空洞は対応する形状を有することを特徴とするキ
ャップ付電灯。
4. 請求項3記載のキャップ付電灯において、ベース内の開口部が接触ピンに
対して共通であることを特徴とするキャップ付電灯。
5. 請求項3又は4記載のキャップ付電灯において、絶縁板がベースにより実
質的に開かれたままである窪みを有することを特徴とするキャップ付電灯。
6. 請求項1記載のキャップ付電灯において、前記電灯が二個のランプキャッ
プを有することを特徴とするキャップ付電灯。」